

ほぼ
月刊

NCC 通信

第3号
平成29年3月

(株)NCC NCCマシナリー 電話: 048-452 8265 FAX: 048-452-8264

■■■この通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信誌です。■■■

◆旅立ち◆

こんにちは。NCC マシナリーの大河原です。このコラムは私とご縁のあった方に差し上げる個人通信です。お時間の有るときお読み頂ければ嬉しいです。

3月は一年の中で一番多くの変化がある月ではないでしょうか。学校を卒業し慌てるよう次の準備をするこの時期、別れの悲しみより未来の自分に期待と不安がよぎります。私も30数年前18歳で故郷福島から大都会東京へ(神奈川)意気揚々と乗り込んで参りました。田舎の百貨店で親に買ってもらった真新しいスーツにポストンバック。片道切符で乗った特急列車。そしてあらたな気持ちで降り立った上野駅。沢山人混みに圧倒され、田舎者と思われたくなく颯爽と歩いていたと思います。今思えばその姿は、緊張にこわばった顔に、ぎこちなく歩く姿で、周りからは滑稽に写っていたかも知れませんね。(^^;

この時期、今でも駅のコンコースでそんな新社会人を見かけることが有ります。そんな時、心の中で”頑張れ!”と応援するのでありました。人生の大きな節目に、まだ自分は、将来の夢や生き方をハッキリと示すことが出来ず、探究心のみで飛び出した気がします。お金は無いけどやる気満々。体力十二分。まずは親戚や、諸先輩の言いつけを守り、真似をすることから始めよう。私の就職先はどっぷりの製造業で、まだまだ職人の技が生きている現場でした。そこへコンピュータ化の大波が押し寄せ、あっという間に切り替わって行きました。

私はちょうどその波の先端に居ることができ、職人の技(アナログ)をCAD/CAM(デジタル)に置換する業務を寝る間も惜しんで力の限り頑張りました。勿論、成功ばかりでは無く、始めは失敗だらけで、上司のK課長や職場の先輩T氏には本当に助けられました。あの時の本気な叱咤激励が無かったら今こうして会社経営をしていなかったと思います。人生は決して良いことばかりでは無いですが、明日は今日よりもっと良くなるだろう。良くしようと思います。

“生きることがつらいとか苦しいだとか言う前に、野に育つ花ならば 力の限り生きてやれ。”

〈松山千春の歌詞より〉

◆発行者コラム◆

下見に来られないお客様の為に機械状態を少しでも分かりやすく案内出来る様、一部にドローン、VR技術を組み込んだ動画配信を始めました。まだまだ改善する余地はありますが今後も、ありのままの姿を見て頂ける様努力して参ります。【参考】 <https://youtu.be/vBoFeWaxXIw>

■■■本通信希望されない方は、大変お手数ですがご連絡頂きますようお願いいたします。■■■

【発行者プロフィール】

- ◆大河原 勇 (おおかわら いさむ) A型
- ◆誕生日: 昭和39年10月10日
- ◆出身地: 福島県
- ◆主な資格: 電気工事士・ボイラー技士・大型2種免・その他多数 資格マニア(笑)

- ◆経歴: 大手鉄鋼メーカー在職中、鉄鋼短大にて電気・電子工学を学ぶ。復帰後は金型設計製作に従事。2001年独立NCC創業。
- ◆打ち込んできたもの: 物作り一筋
- ◆モットー: 自分もよし他人もよし

